



らいおんだより

よく考えてあそぶ子 心豊かでやさしい子 健康でたくましい子

NO. 5
R5.1 1.30

いよいよ12月2日は生活発表会です。子ども達はおうちの人に見てもらうことを楽しみにしながらも、ドキドキ緊張もしているようです。“カッコいい姿をみせたい！”という思いが緊張につながっているのでしょうか。当日は、頑張る姿をしっかりと見てあげてください。幼稚園最後の生活発表会、みんな気合が入っています。

劇『ピーマンマンとかぜひきキン』（全園児）

（あらすじ紹介）

ピーマンマンシリーズの絵本を読むと、「私、ピーマンマンになりたいの！」とお面やマントを用意し、なりきって遊んでいました。教師が「よし！ピーマンマンの劇をしよう」と話すと大喜び劇あそびが始まりました。ですが、恥ずかしがり屋な一面を持っている子も多いらいおん組。前に立つと照れて思うように表現できないこともあり、「この時、ピーマンマンってどんな気持ちだろう…？」「何をするとピーマンマン元気になるかな…」と絵本に書いていないこともみんな考えていくと、話の理解が深まったり、自信がついてきたりして、表現を楽しむ姿もできました。内容もみんなで考えたオリジナル劇となっています。どうぞ、お楽しみに！

本当は弱虫だったピーマンマン。実はとても素晴らしい力の持ち主で、世界中のバイキンたちをやっつけることに成功しました。強くてカッコいいピーマンマンは、ほかのお野菜たちにも認められ、憧れとなりました。「ピーマンマンとかぜひきキン」はその続きの物語です。今回のお話では、さらなるピンチがピーマンマンと野菜たちに襲い掛かります…！はたして、ピーマンマンと野菜たちはどうになってしまうのか…。



歌『ともだちいいね』 / ハンドベル『ジングルベル』 合奏『ミッキーマウス・マーチ』（らいおん組）

らいおん組の歌は、子ども達も好き！と言っていた曲にしました。

歌っていく中で、歌詞の意味と一緒に考えていきました。♪～きみとあうとうれしい～♪「君って誰のことだろうね？」「みんなにとって君って誰だろう？」はじめは「???」という感じでしたが、みんなでゆっくり考えていくと、「私は〇〇くんかな。」…という話になり、曲の理解が深まっていきました。そのあとみんなで歌ってみると「なんか歌うの楽しくなってきた。」「この歌好き！」という声がありました。この時の“好き”は最初の頃の好きとは、ちょっと違う意味を持っていたと思います。『ともだちっていいね』本当にそんな気持ちが生まれるといいなと思います。

ハンドベル、合奏は年長児ならではの見せ所！らいおん組のみんなも、ベル、木琴や鉄琴、太鼓…などの初めて触れる楽器にドキドキワクワクしていました。「いろんな音が出るね」「この楽器の音、きれいだね。」「大きい音だ！」と楽器に触れ、思い思いに表現しました。「合奏ってなに？」“一人じゃなくていろんな楽器の音を合わせて演奏すること”と話をし、みんなで心を合わせて演奏できるように練習しました。音が合った時には、うれしそうな表情で友達や教師と顔を見合わせみんなで喜びました。当日は緊張すると思います。ですが、一生懸命、たくさん練習しました。見守ってあげてください。

いま、音そろったな！

